

令和2年度 小山町立するがおやまこども園評価「自己評価書」

1 教育目標

- 『みんなでわくわく遊べる子』
- ・考える子
 - ・優しい子
 - ・元気な子

2 重点目標及び具現の方策

○重点目標「やりたいを実行できる子」

- ・考える子：自分の思いを表現する
好奇心や興味を持ち楽しむ
工夫、挑戦、やり遂げる
- ・優しい子：安心して過ごす
自分や友達を大切にする
友達と仲良く遊ぶ
- ・元気な子：自ら進んであいさつをする
自分の体に興味を持つ
汗をかいて夢中で遊ぶ

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
教育目標・園目標	B		B	A
教育課程・保育計画	B		B	A
保育指導	B		B	A
研修	B	分離型こども園となり、なかなか話し合う時間をとることが難しかったり、両園の共有が難しかったりしたことから、CよりのBとした。	B	
特別支援教育	B		B	
安全管理	B		B	A
保健管理・食事	B		B	A
組織運営・情報管理	B		B	A
情報提供	B		B	B
保護者・地域との連携	C	新型コロナウイルス感染症予防の為、連携は難しかった。	C	B
子育て支援	B		B	B
施設・設備	B	建物の老朽化で仕方がない部分もある	B	B

(注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」

- 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
教育目標・園目標	今後も目標に向かった保育・教育に努めたい。
教育課程・保育計画	年・期・月から計画を週日案へ下ろし繋げた計画を作成していきます。
保育指導	コロナウイルス感染症対策をしながら、工夫をして保育を行いました。次年度も同様にコロナ対策をしながら職員一同模索しながら保育指導をしていきたい。
研修	年間を通じての課題となるが、分離型こども園でなかなか両園の共有は難しかった。つねにこどもがいる中で話し合いをどのように持ったらよいか考えていきたい。
特別支援教育	分離型で両園の共有が難しいところもあるが、しっかりと報告をしていきたい。
安全管理	分担をし責任を持って安全管理に努めたい。
保健管理・食事	ホイクトのタブレットやホワイトボード連絡ボードの利用をしています。
組織運営・情報管理	職員同士協力をしながら運営をしていきます。ホイクトタブレットを利用しての情報共有がとても役立ちました。
情報提供	行事が減った分、保護者への情報提供を意識して行った。ホイクトタブレットの利用が役に立った。今後も続けたい。
保護者・地域との連携	コロナ対策をしながら、出来ること・新しい方法を考えていきたい。
子育て支援	保護者との日々の会話を大切に、保護者に寄り添ったアドバイスを心掛けた。今後も努力していきたい。
施設・設備	老朽化しているが、大切に清潔をこころがけていきたい。

5 評価全体を通して

- ・新しく、こども園化になったこと、分離型であること、新型コロナウイルス感染防止対策で行事の中止や生活の仕方が変わったこと、など変化の一年だった。その中で職員が反省や課題を出せる良い機会となった。今年度の課題を基に来年度に繋げていきたい。
 - ・分離型こども園として試行錯誤の年だった。一日中子どもの活動時間がある中で研修の時間・会議の時間を作ることが難しく、一番の課題となっている。また、両園での情報共有が難しかったが、年度途中のホイクタブレットの導入により、情報共有が取りやすくなった。行事などお互いの様子を写真やムービーで知らせることで共通理解も深まった。
 - ・園の研修テーマがあることで、職員が同じ方向を向いて保育を深めるよう努力をしている。
 - ・コロナ感染予防のため、保護者や地域の方との交流や連携ができないのが現状である。このような中でもよい関係の構築につとめたい。
 - ・新しい形での行事のやり方を考えてきた。学年ごと日にちを分散しての運動会や学年ごと時間をずらして発表会ができたことを保護者も喜んでいる。まずは安全を第一に、そして子供たちが楽しむこと・経験からの学びを補償できるように考えていきたい。
- 普段の子どもたちの様子を保護者へ登降園時に伝えたり、お便りで伝えたりするようこれからも努力していきたい。
- ・建物は老朽化しているが、その中で職員は衛生面に気を付け、危険の無いように努力をしている。これからも気を付けていきたい。
 - ・第一園舎の園庭は令和元年度の春に整備したが、雨が降るたびに削れて、川に砂が流れてしまっている。駐車場がないため、園庭が駐車場になっていることも関係している。今後も園庭の砂が削れていくことが予想されるので、どのように園庭を整備していくかが課題となっている。

○保護者アンケートより

- ・分離型こども園一年目として保護者からの御意見は様々であった。小さい子と大きい子が分かれてしまい寂しいという意見や不便さを感じているようすが感じられた。保護者にとって「分離」ということが何をすることも気にかかっている様子。園として、何ができるのか模索し工夫しながら保護者が少しでも安心できる要素を増やしていきたいと思う。
- ・幼稚園と保育園が一緒になって友達が増えてよかったという意見もあった。
- ・1号認定からスムーズに2号認定に移れることも高評価であった。